

ウズベキスタン共和国シルダリアII天然ガス火力発電事業に対する融資（2023年3月）

- **天然ガス焚複合火力発電事業へ約393百万米ドルのプロジェクトファイナンスを供与**。双日及びキューデン・インターナショナル等は同事業の建設・所有・運営に参画し、電力をウズベキスタン国営電力公社向けに売電。
- 同国政府は2050年までの電力セクターのカーボンニュートラル達成に向け、既存のガス火力発電のリプレース及び近代化を推進。本件は老朽化した既設ガス火力発電を最新鋭の高効率コンバインドサイクル発電へと代替し、**同国の脱炭素政策実現を支援**するもの。



日本製鉄が出資するインド法人によるハジラ製鉄所拡張に対する融資（2023年3月）

- 日本製鉄及びArcelorMittalの合併会社のインド子会社であるAM/NS Indiaによるインド西部の鉄源一貫製鉄所拡張を支援するもの。融資金額は3,000百万米ドル。
- インド政府の国内産業保護政策「Make in India」に貢献しつつ、拡大する同国の鉄鋼需要を取り込み。日本製鉄のサプライチェーン強靱化にも寄与するもの。
- また、新設される設備は**脱炭素技術の将来的な導入を前提とした設計を施す**など、**カーボンニュートラル実現に向けた日印両政府の政策にも合致**。



インドネシア共和国政府発行の公募円建て外債（ブルーボンド）の一部取得（2023年5月）

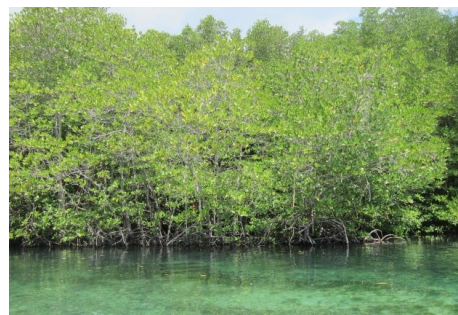
- インドネシア政府が日本で発行する公募債形式の円建て外債（サムライ債）（ブルーボンド※）総額207億円の一部を取得。

※海洋資源の保護等海洋分野に資金使途が限定されたSDG債。

- 尼国政府は海外発行体として初めてサムライ債市場でブルーボンドを発行。
- ブルーボンドによる調達資金は、尼国政府のSDG債フレームワーク上の適格支出に該当するプロジェクトに充当。対象には海洋・沿岸の保護及び生物多様性・生態系の回復や廃棄物処理、持続可能な漁業等に関するプロジェクトが含まれる見込み。

ベナン共和国の太陽光発電事業及び小学校向けランタン電化事業に対する融資（2023年6月）

- 2021年3月にベナン政府との間で設定したクレジットライン（30百万ユーロ限度）の下で、同国の太陽光発電事業及び小学校向けランタン電化事業を対象に融資。本行融資金額はそれぞれ約14百万ユーロ、50万ユーロ。
- 太陽光発電事業はベナンの温室効果ガス排出量削減や化石燃料輸入量削減、電化率向上等に貢献。
- 小学校向けランタン電化事業は、児童向けのランタンの貸与を通じ、農村部の電化や学習環境の向上、通学習慣の定着化等に寄与。ベナン国内の社会課題解決にそれぞれ貢献。



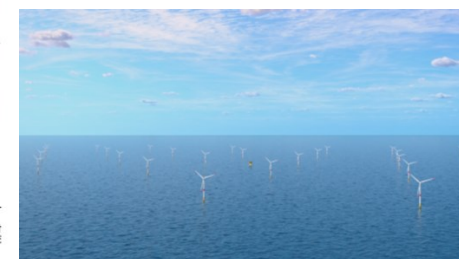
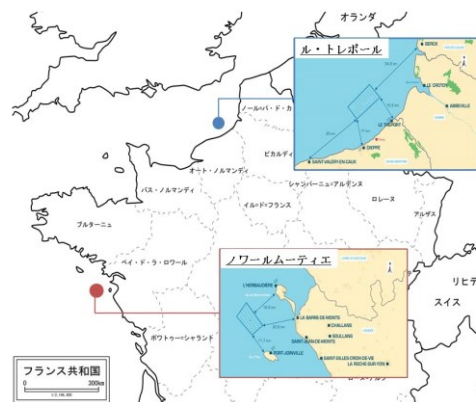
エジプトの陸上風力発電事業に対する プロジェクトファイナンス（2023年3月）

- 陸上風力発電所事業へ約240百万米ドルのプロジェクトファイナンスを供与。豊田通商及びユーラスエナジー等は同事業の建設・所有・運営に参画し、電力をエジプト送電公社（EETC）向けに売電。
- 当行は欧州復興開発銀行（EBRD）との間で2022年10月に協力強化を目的とする覚書を締結しており、**本件は覚書締結後初の協調案件。**



フランスNoirmoutier・Le Treport 洋上風力発電事業に対するプロジェクト ファイナンス（2023年4月）

- 洋上風力発電事業へそれぞれ約11億ユーロのプロジェクトファイナンスを供与。
- 住友商事等は同事業の建設・所有・運営に参画し、電力をフランス電力（EDF）向けに売電。
- 当行初のフランス洋上風力案件であり、**フランスの洋上風力発電導入設備容量の拡大に貢献。**



※事業会社作成プロジェクトイメージ

ベトナムにおいてコバオリが実施する バイオマスプラスチックの製造・販売 事業に対する融資（2023年1月）

- 事業者のコバオリは衣料品用ネームタグの製造・販売を主業とする1953年設立の中小企業。
- 同社が事業多角化施策の一環として実施する、古米、破砕米等、飼料としても使用されず**処分されてしまう米**や、耕作放棄地等を活用して生産した**資源米**を**原材料**とする**日本発のバイオマスプラスチック（ライスレジン）**の製造に必要な資金に対し融資した。融資金額80百万円。
- 本件は**サプライチェーン強靱化**に貢献するとともに**食品ロス、CO2排出低減、石油資源抑制等の社会問題解決にも寄与**。



Rice Resin®
ライスレジン



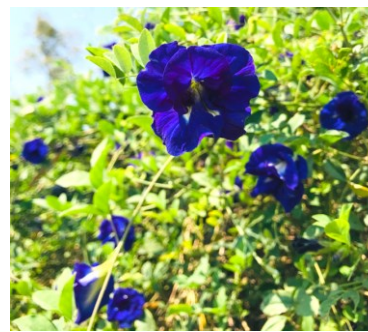
ライスレジンを活用した
ゴミ袋



ライスレジンを活用した
子供用のおもちゃ
(出所) コバオリ

タイにおいてツジコーが実施する 食品着色料の製造・販売事業に 対する融資（2023年2月）

- 事業者のツジコーは電気機械器具の製造・販売を主業とする1965年設立の中小企業。
- **静電気で殺菌する技術**を応用し、タイ現地法人にて**バタフライピー**を原料とした**天然由来の青い食品着色料の製造拠点を設立**。その際に必要な資金を融資した。融資金額10百万タイ・バーツ。
- 安全性が危惧されている合成着色の代替として**天然由来の食品着色料の普及促進に貢献するものであり、社会問題解決に寄与**。



バタフライピー



同社製品を用いたチョコレート
(出所) ツジコー